

里親さんだから、できること



わたしたちが当たり前と思っている家庭での生活を知らずに育つ子どもたちは、何気ない家庭でのかわりをこのうえなくうれしく感じるものです。そしてその家庭での生活体験が、子どもをすこやかに成長させてくれます。あなたの家庭でも、できることがきっとあります。

わたしにもできる？

Q「里親」=養子縁組ではないの？

A 里親制度には養子縁組を前提とする「養子縁組里親」も含まれますが、他にもいろいろな里親の種別があります。養子縁組を前提とせず、事情があって家庭で生活できない子どもを家庭に迎え入れる「養育里親」などです。あなたの家庭ではどの里親ならできそうですか。

Q 自分の子どもがいてもできますか？ 夫婦共働きなのですが…

A 実子のいる里親さんも、共働きの里親さんもいらっしゃいます。あなたの家庭状況に応じた支援の方法をご検討のうえ、児童相談所に一度ご相談ください。

Q 性別や年齢など、どんな子がいいか希望は言える？

A ご希望はうかがいますが、里親家庭を必要とする子どもの性別や年齢と、受け入れ家庭のご事情や家族構成などを確認し、児童相談所が総合的に判断します。

Q 養育に必要な経費の支援はありますか？

A 子どもを受け入れた後は、子どもに必要な生活費・教育費・里親手当が支給されます。特別に広い家などは必要ありません。

Q 里親になるための要件ってあるの？

A 次のような要件があります。

- 子どもの養育についての理解及び熱意並びに子どもに対する豊かな愛情をもっていること
- 経済的に困窮していないこと
- 子どもの養育に関し、虐待等の問題がないと認められること
- 「児童福祉法」で定める欠格事由に該当しないこと（「児童福祉法」及び「児童買春、児童ポルノに関わる行為等の処罰及び児童の保護法に関する法律」の規定により、罰金以上の刑に処されたことがないことなど）



里親制度に関心を持ったら
まずは地域の窓口まで
お気軽に
お問い合わせください。

お問い合わせ先

宝達志水町以北

石川県七尾児童相談所

七尾市古府町そ部 8 番 1

☎ 0767-53-0811

受付時間 / 月～金 8:30～17:45

金沢市

金沢市児童相談所

金沢市富樫 3-10-1

☎ 076-243-4158

受付時間 / 月～金 9:00～17:45

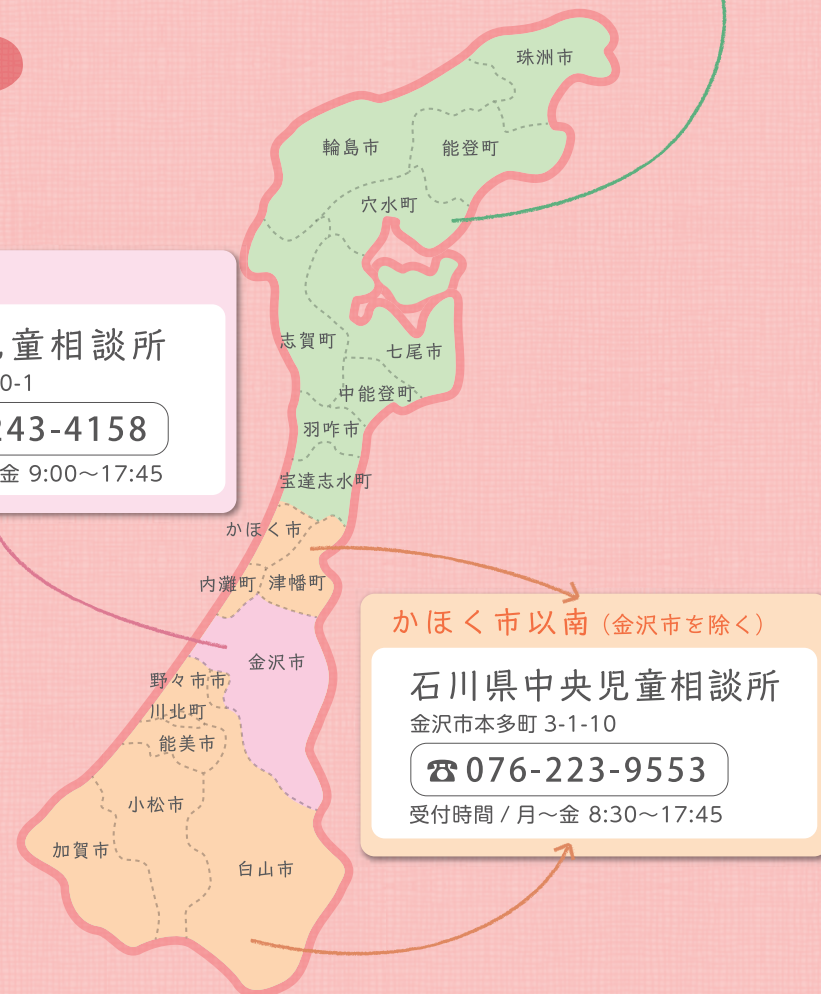
かほく市以南（金沢市を除く）

石川県中央児童相談所

金沢市本多町 3-1-10

☎ 076-223-9553

受付時間 / 月～金 8:30～17:45



子どもは、親の深い愛情につつまれて、
家庭で身心共にすこやかに育つことが望めます。
しかし、さまざまな事情で家庭を離れて生活しなければならない
子どもたちが、県内にはたくさんいます。
みなさんの家庭に受け入れ育ててくださる方(=「里親」)を
待ち望んでいる子どもたちがたくさんいます。

石川県

『里親』って？

さまざまな事情で、自分の家庭で暮らすことができない子どもを、一定期間あるいは継続的に（原則17歳まで）、自分の家庭に迎え入れ、愛情と誠意を持って養育してくださる方を「里親」といいます。みなさんも里親になることができます。里親にはいろいろな種類があります。それぞれに合ったかたちでご協力をお願いします。



自立するまで
家庭のおたかさを
子どもたちに



「家庭の生活」を子どもたちに伝える

養育里親

事情があって家庭で育てられない子どもを、一定期間、あるいは継続的に育ててくださる方。（事前研修の受講が必要です。）子どもに愛情を注いで育ててください。

家庭の中で細やかなかわりを

専門里親

里親としての経験と専門知識を生かし、虐待を受けた子どもなど生活上細やかな配慮が必要な子どもに対し、家庭で養育してくださる方。

ずっと家族でいる

子どもの人生と共に歩む

養子縁組里親

親が養育できない子どもを養子縁組を前提として育ててくださる方。（事前研修の受講が必要です。）



親族里親

両親がいない子どもを親族（祖父母や兄弟姉妹）が育てる里親。



実際の体験から 里親になってよかった！！

地域とのつながりが深まりました

私たちには子どもがおらず、地域とのつながりもありませんでした。里子を迎え入れてからは、地域の人たちも里子のことを知り、徐々に気にかけてくれるようになりました。里子を通じていろいろな学年の親御さんともつながりができ、登下校時には、地域の人たちが心配して里子に声をかけてくれるなど、私たちの家庭を支えてくれるようにもなりました。里子との生活を通じて地域とのつながりが深まり、私たちの生活が変わったと実感しています。

生涯、親子の関係

3年前、我が家を巣立っていった元里子は、今では就職をして家庭を持ち生活しています。今でも元里子は、ちょくちょく私の家に遊びに来てくれ、今あずかっている里子と一緒に遊んだり、一緒に出かけたりと、私たちの養育をいろいろと手伝ってくれます。この子とは、今でも家族のような関係です。また、この子の実のお母さんも、育ててくれたことへの感謝から、毎年、父の日や母の日に必ず贈り物を贈ってくれます。この子を育てることができ、本当によかったと実感しています。これからも、いろいろな事情を抱えた子どもたちを受け入れていきたいと思っています。

我が子にきょうだいが増えたような感じ

我が家に里子が来て早2年が経ちます。私たちには言葉が出にくいなどの障害をもった子どもがいます。その子は大人数の中での生活が難しく、学校を休むこともしょっちゅうありました。里子が我が家に来てからは、少しずつきょうだいのような関係を築き、一緒に遊んだり、ごはんを食べたり。里子との生活で、我が子も少しずつ言葉が出るようになり、今では学校での生活も送れるようになりました。里子との生活は、実の子にとっても本当によかったと感じています。

子どもたちからエネルギーもらっています

専門里親として、重い障害がある子を受け入れています。周りの人たちからは「大変でしょ？」と言われるのですが、障害があっても、可愛い表情やしぐさをみせるので、こちらが癒されています。自分の子どもが小さかったときのような気持ちにさせてくれ、また小さい子どもを育てられる喜びを感じています。大変なときもありますが、日々の生活の中で、子どもたちから若さやエネルギーもらっています。

里帰り出産によろこび

初めてあずかった元里子が、我が家に「里帰り」をして、自分の子どもを育てています。我が家を実家のように思ってくれるのは本当に嬉しいし、元里子が子どもを大切に育てている姿を見るのは、本当に喜びです。その様子を見て、ほかの里子たちも、「かわいいね」と言いながら抱っこしたりあやしたりしています。里子たちが将来、結婚して家庭を持ったときのモデルになればいいなと感じています。

心強い地域や児童相談所のサポート

里子を通う保育園や学校、公民館や児童館、病院など地域の人たちにも、こちらから里子のことについて説明することで、理解してもらえています。みんなでお互いに対応していく中で、方向性が見えることもあり、地域で子育てを応援してもらっている心強さを感じています。子どもをあずかった後も、児童相談所の職員が家庭を訪問して様子を見に来てくれたり、相談に応じしてくれるなどのサポートがあるので本当に助かっています。

里親同士のつながり

里親会に入会して多くの里親と知り合い、里親同士でお互いの大変さや悩み、喜びなどを話し合うことで、里親だけで抱え込むことがなくなりました。里親同士の横のつながりのありがたさを実感しています。

